

クリティカルケア看護師のレジリエンスを高めるための効果的な介入方法の開発

研究分野: クリティカルケア看護、メンタルヘルス

キーワード: クリティカルケア看護、惨事ストレス、メンタルヘルス

貢献できるSDGsの区分:



看護栄養学部 看護学科 講師 高崎 亜沙奈

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/a-takasaki/>

研究概要

近年、社会情勢の複雑化とともに労働者のストレスが高まっており、うつ病の発症や自殺者の増加などが社会問題となっている。その中でも看護師は、精神的な負担や重圧を受けやすく、メンタルヘルスにおいては、ハイリスクグループとされている。

特に救命救急センターや集中治療室といったクリティカルケア看護師は、事故や災害といった現場において惨事ストレスを体験し、メンタルヘルスに大きな影響を受けている。クリティカルケア看護師が惨事ストレスを乗り越えるためにはレジリエンスが不可欠と考えるが、レジリエンスを高める介入方法は具体的にはまだ提示されていない。

そこで、本研究ではクリティカルケア看護師のレジリエンスに関する認識を明らかにして、クリティカルケア看護師のレジリエンスを高めるための効果的な介入方法を開発し、クリティカルケア看護師のメンタルヘルスの維持・増進を目指した支援を確立することを目指す。

産学連携の可能性(アピールポイント)

- ①クリティカルケア看護師のレジリエンスを高めるための効果的な介入方法の開発。
- ②クリティカルケア看護師のメンタルヘルスの維持・増進を目指す。

外部との連携実績等

長崎県看護協会看護研究委員

関連情報

①Asana Takasaki, :Process through which critical care nurses overcome patient death due to accidents or disasters The 9th International Health Humanities Conference (Dates: October 23 – November 15, 2020) オンライン学会

②高崎亜沙奈:「クリティカルケア領域における役割拡大に関する看護師の認識」, 日本救急看護学会雑誌, 査読有, 19(2), 21-29, 2017